

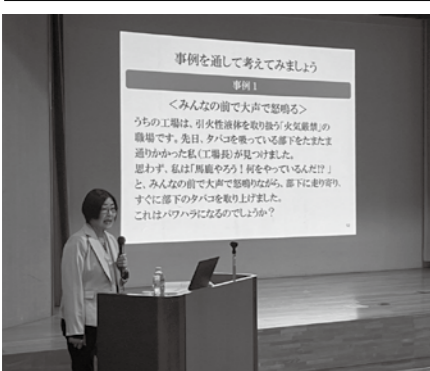
保健医療課 知ることが、予防の第一歩 令和7年度 がん講演会



講師の話に聞き入る参加者

3月13日、庄原市ふれあいセンターで、令和7年度がん講演会を開催し、35人が参加しました。
がん講演会は、市民の皆さんに「がん」について考えてもらい、検診啓発の一助となるよう、毎年開催しています。
今回は、講師に市立三次中央病院・呼吸器内科医長の栗屋禎一先生を迎え、「肺がん」について知ろう!!「治療と予防」と題して講演いただきました。
参加者は、肺がんの仕組みをはじめ、原因や症状、検査、治療、予防について、最新の情報に熱心に耳を傾けていました。
肺がんは検診で早期発見すると約95%は治る病気です。年に1回はがん検診を受診しましょう。

市民生活課 誰もが安心して働ける環境へ 庄原市男女共同参画セミナー(第5回人権啓発セミナー)



事例を交えながら講演する小倉さん

2月25日、庄原市ふれあいセンターで、男女共同参画セミナーを開催し、29人が参加しました。
当日は、公益財団法人人権教育啓発推進センター特任講師の小倉千尋さんを迎え、「職場等におけるハラスメント防止対策」と題して、最近のハラスメント被害で起きた裁判などの事例を交えながら講演いただきました。
また、ハラスメントはアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)とも関係しており、育ってきた環境や経験に基づく発言が無意識のうちに相手を傷つけてしまうことや、相手の立場や気持ちを尊重する姿勢が大切であることを講演いただきました。
参加者からは「自分にとって嫌でなくても、相手にとっては嫌かもしれない」という言葉が印象に残ったなどの感想がありました。

行政管理課 職員向けキックオフ研修会を開催 令和7年度 庄原市シティプロモーション事業



具体的な事例を交えながら講演する尾崎さん

3月5日、備後庄原駅舎で「令和7年度庄原市シティプロモーション事業 キックオフ研修会」を開催し、市職員19人が参加しました。
本研修会は、令和8年度から新たに進める5つのリーディングプロジェクト「PEACEfull」の一つである「庄原ブランドディングの推進」に向け、庁内の推進体制を整えるためのキックオフとして実施しました。
当日は、講師に株式会社FRASCO代表取締役の尾崎香苗さんを迎え、シティプロモーションの本質や他市町の事例、そして本市の可能性について、講師に株式会社FRASCO代表取締役の尾崎香苗さんを迎え、シティプロモーションの本質や他市町の事例、そして本市の可能性について、



庄原の魅力について発表する市職員

参加者は、市の魅力の創出と発信に向けての理解を深め、研修会終了後には、「市全体で連携して魅力を発信していくことの重要性を実感した」「自分の部署だけでなく市全体で連携して取り組む大切さを改めて認識した」との声が寄せられるなど、一体となって取り組む意識の醸成につながりました。
市では、引き続き、分野を越えて連携しながらシティプロモーション事業に取り組みます。

地域推進課 関係人口の拡大と地域への理解促進に向けて 庄原ファンフェスタ 2026～食べて、話して、つながろう!～

2月22日、広島市の広島銀行本店1階で、「庄原ファンフェスタ2026」を開催しました。
このイベントは、本市が誇る特産品の販売や試食、トークショーなどを通じて、庄原の魅力をさらに知ってもらい、関係人口の拡大と地域への理解促進を目的として実施するもので、「庄原さとやま留学」に参加した留学生もスタッフとして参加しました。
当日は、比婆斎庭神楽の皆さんによる神楽の披露、「お試し留学(2泊3日)」に参加した留学生と「西城みらいラボ」の伊藤裕樹さんが庄原の魅力について語ったほか、メインイベントとして東城町出身の落語家・林家ひろ木さんに落語を上演いただきました。
その後、林家さんと八谷市長によるトークセッションを行い、関係人口の重要性や今後の展望について話しました。
また、庄原の特産品などの販売や比婆牛の試食ブースも多くの来場者でにぎわい、庄原市の特産品が当たる抽選会とじゃんけん大会では、フロアを埋め尽くすほどの会員が集まり、盛り上がりを見せました。

庄原ファンクラブでは、引き続き、会員同士の交流イベントや体験イベントなどを実施する予定です。



たくさんの来客でにぎわう販売ブース



会場を魅了した比婆斎庭神楽の舞

QRコード

生涯学習課 エキスパートから学び、楽しむ 庄原市レベルアップスポーツ教室 卓球教室・バスケットボール教室・サッカー教室

2月下旬から3月上旬にかけて、令和7年度レベルアップスポーツ教室を開催しました。
2月21日には庄原市総合体育館で「卓球教室」を開催し、小学生から中学生まで34人、2月28日には庄原市総合体育館で「バスケットボール教室」を開催し、小学生から中学生まで31人、3月8日には庄原中学校グラウンドで「サッカー教室」を開催し、小学生4人がそれぞれ参加しました。
講師には、各種目の競技者やスクールコーチ(卓球教室・近畿大学附属広島高等学校福山校卓球部 福場亮博総監督および部員15人、バスケットボール教室・広島ドラゴンフライズスクールコーチ、サッカー教室・サンフレッチェ広島スクールコーチ)を迎え、初心者から経験者まで、それぞれのレベルに応じた指導を受けました。
参加者からは「いつもやっていないような練習が多くできたので、すごく勉強になった(卓球教室)」「シュートの打ち方が勉強になった(バスケットボール教室)」「ボールが来たときに、すぐに次の動きをとることが大事だと勉強になった(サッカー教室)」などの声が寄せられました。

参加者からは「いつもやっていないような練習が多くできたので、すごく勉強になった(卓球教室)」「シュートの打ち方が勉強になった(バスケットボール教室)」「ボールが来たときに、すぐに次の動きをとることが大事だと勉強になった(サッカー教室)」などの声が寄せられました。



教室を終え、笑顔で記念撮影



上達のポイントを学ぶ参加者たち



講師とラリーを重ね、技術を磨く参加者